

団体名		事業名	交付予定額	融資予定額	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
1	徳島県	-	25,000	25,000	徳島大正銀行	<p>家賀集落は3～4世紀に全国各地に農業などを伝えたと言われる「阿波忌部族」の拠点であり、世界農業遺産である「にし阿波の傾斜地農耕システム」を継承してきたが、過疎化が進み、耕作放棄地や荒れた山林が増え、美しかった山村景観が失われつつある。</p> <p>また「家賀再生プロジェクト」が結成され、徐々に伝統農法を学びたいという人が集まりはじめたが、伝統農法を守る地域の農家の収益増やその後継者確保には至っていない。</p>	<p>世界農業遺産である「にし阿波傾斜地農耕システム」を未来へ伝承するため、徳島県美馬郡つるぎ町貞光の家賀(けか)集落において宿泊施設を整備し、伝統農業を学びたい方、外国人、学生などを主なターゲットとした、見て、感じて、食べる滞在型「にし阿波傾斜地農耕システム」体験サービスを展開することで、カネ・モノ・ヒトの地域経済の循環を創造する。</p>	<p>世界が認める「にし阿波の傾斜地農耕システム」をその拠点である家賀集落を学習の場として実際の農業体験を通じて学ぶとともに、単なる観光施設ではなく地域内外の利用客の交流拠点とし、人と人の絆を深め移住希望者を獲得できるまちづくりを行うことにより、世界農業遺産の保全と地域農業の継続に経済的な循環が発生する仕組みを構築することで、家賀地域と同様に、高齢化、過疎化によって世界農業遺産の継承が危ぶまれる地域の課題解決モデルとなる。</p>
			<p>（国費 12,500 地方費 12,500）</p>					
2	徳島県	美馬市	25,000	25,000	四国銀行	<p>コロナを経て、ガソリンスタンドの廃業や時間短縮が相次ぎ、美馬町内で日曜日も営業しているガソリンスタンドが1件も無くなっている状況で、仮に観光客が美馬町内に来た場合、わざわざ町外でガソリンを補給する必要がある≒観光客が気軽に寄りづらい地域となっています。（不便さが先行するとリピーターに繋がりにくい状況です。）</p>	<p>「ガソリンスタンド事業」と「道の駅事業」、「キャンプ場」、「地元の観光資源」、「地域の防災拠点」をつなげ、地域の活性化を図る。単に「廃業したガソリンスタンドを復活させる」という事ではなく、地元で眠っている資源（観光資源等）を活用するための重要な拠点・施設の一つとして、今後美馬市（美馬地区）の地域発展・活性化に繋げていく。</p>	<p>災害発生時に燃料供給を行う拠点となるとともに、今後、徳島県西部防災館と災害発生時に協力できるよう連携を図ることで、他自治体のモデルとなり得る。ガソリンスタンドの運営だけではなく、道の駅やキャンプ場等、地域の観光資源と連携することで、地域活性化につながり、他の同事業者のモデルとなり得る。</p>
			<p>（国費 16,666 地方費 8,334）</p>					
			50,000	50,000				